

【資料2】

三田市教育大綱 **方針2** 『グローバル人材の育成』の取組みについて

1 はじめに

“グローバル人材”の概念

～H24 国「グローバル人材育成推進会議」審議まとめによる～

要素Ⅰ：語学力・コミュニケーション能力

要素Ⅱ：主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感

要素Ⅲ：異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティー

2 取組の内容

(1) ふるさと意識の醸成

子どもが将来、主体的に生きるために、自らのよりどころとなる「ふるさと三田」の伝統や文化を尊重し、豊かな文化の創造に寄与する態度を育てるため、三田の自然、歴史、文化や偉人を学習材として学習するとともに、市内の学習施設等を活用した見学や調査、農業体験、日本の文化に触れる体験活動を推進します。

また、学校給食に地域食材を積極的に取り入れ、郷の恵みや生産者への感謝の心を育てる食育の推進により、ふるさと意識の醸成に努めます。

【主な取組】

- ①「ふるさと読本」の作成、活用
- ②友好都市交流事業（母子小学校と神島小学校、三田小学校と鳥羽小学校）
- ③学校元気アップ共育事業（農業体験や環境学習の充実）
- ④「三好達治名詩選集」の活用と「少年少女柿の実詩集」の発行
- ⑤“食べチャオさんだ！”食育推進事業（地場産物の活用、絵手紙コンクール、食育フェスティバル）

(2) グローバル化に対応した教育の推進

国際化が進展する中で、子どもが将来、国際社会で活躍できるよう、就学前から11年間を見通した英語教育及び国際理解教育を推進します。

また、高度情報化への対応として、子どものICT機器活用能力を育成するとともに、情報ネットワークの特性を踏まえた適切なコミュニケーションや情報発信のあり方について正しく理解させる情報モラルを育成する情報教育を推進します。

【主な取組】

- ①就学前から11年間を見通した英語教育（英語によるコミュニケーション能力の育成、ALT・外国語活動サポーターの派遣、小中連携の推進）
- ②国際理解教育の充実（大学との連携、地域の方をゲストティーチャーとして招聘、「国際理解実践集」の作成と活用）
- ③情報教育の推進（電子黒板・タブレットPC・ウェブカメラ等ICT機器の活用、情報モラル教室の実施）

(3) キャリア教育の推進

子ども一人ひとりの発達段階に応じ、将来、社会的・職業的に自立し社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を育てます。

また、人や自然と自分との関わりを認識させる機会として、地域や関係機関等と連携しながら、自然体験や職業体験等の多様な活動に取り組みます。

【主な取組】

- ①社会的自立に向けたキャリア教育の推進
 - ・4つの育てたい能力（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力）
 - ・県研究指定(H27・28)による藍中学校区の取組
- ②地域の良さを生かした兵庫型体験教育の推進
 - ・里山、田畑、水辺などで自然とふれあう環境体験事業（小学校3年生）
 - ・人や自然、地域社会と触れ合い、理解を深める自然学校推進事業（小学校5年生）
 - ・生徒の主体性を尊重した地域や自然の中でのトライやる・ウィーク（中学校2年生）